

# 福祉にいがた

Fukushi Niigata

4月号

2021

第824号

## CONTENTS

- 県社協―令和3年度当初予算と主な事業
- 令和2年度第2回福祉団体懇談会を開催
- ユニゾンの図書館に100冊が仲間入り

巻頭特集

福祉のかじ取り―西蒲区社協  
男性シニアの居場所づくり  
(2・3面)



絵 たるきち「さくら」  
(えかき・新潟市西区)



社会福祉  
法人

新潟県社会福祉協議会

<http://www.fukushiniigata.or.jp/>

# 福祉のかじ取り 市町村社協

地域の福祉向上へ、地元市区町村の社会福祉協議会はどんな「かじ取り」をしているのか。新潟市西蒲区社会福祉協議会は「シニア男性の居場所づくり」に力こぶを入れています。具体策の一つが、地元の運営団体と一緒に推進する「ビニールハウスの居場所」です。区社協の担当者や運営団体代表の岩崎典子さんに取材しました。

## 力こぶ

シニア世代。一般的に女性がよく外出するのに、男性は家に居がちだとか。例えば女性はどこへでも気軽に出掛けて仲間づくりをす

### 新潟西蒲区

#### シニア男性の居場所づくり

## 包丁研ぎやそば打ち、日曜大工… 講座設け、習得を後押し

約140人が修了しました。令和2年度の講座開催はウイルス禍で自粛続きでしたが、年度末の3月に「スマホ教室」を開催。修了者には「ビニールハウスの居場所」利用を呼び掛けました。得意技を身に付けたシニアたちは意気揚々と地域に出掛け、仲間づくりに励ん

話し合ったところ、岩崎家の農業用ビニールハウスを活用し、「シニアの居場所」が平成30年にでき上がりました。広さ880平方メートル（約270坪）。小さな体育館のようです。毎週月曜午前9時半～11時半、「ビニールハウスの居場所」が開かれます。50代から70代の約20人が集ま

り、思い思いの時間を過ごします。

応援講座の修了者も参加しており、運営スタッフとして活躍しています。

だ…、と思いきや、そう簡単ではなかったそう。「『行く場所は自分で見つけて』と突き放さず、行く場所作りも欠かせないと思

味で「農福連携」ともいわれます。地域共生社会の実現へ向けた、一つの試みとして注目されています。

## 技あれば外出の契機に

シニア応援講座は平成29年に年1回の「包丁研ぎ」からスタート。好評だったため、その後、そば打ちや日曜大工、料理の計4講座に増やし、これまでに



「男性シニア応援講座」で人気「包丁研ぎ講座」



田巻美和子さん



不動の人気「そば打ち講座」

# ビニールハウスの居場所（西蒲区松野尾）



一つの物事の実現に熱心な人を「熱人」と呼びたい。

西蒲区社会福祉協議会と協力してビニールハウスの居場所を運営する地元グループ「marugoto」

代表の岩崎典子さんに聞き

ケアマネジャーです」

「「ビニールハウスの居場所」はどんな発想で生まれたのですか？」

「高齢者には大切な居場所活動は私にはなかったのです。制度や施策から外れてしまう人たちに、光を当て

## 「気軽に行ける場」



運営団体「marugo-to」代表 岩崎 典子さん

「ビニールハウスは以前、どう使われたのですか？」

「農業を営んでいた義父母が、出荷する野菜苗を育てた施設でした」

「ご自身はどのように福祉に関わって来ましたか？」

「以前はヘルパーとして働きました。今は独立型の

たかつたから」

「確かに「行く場所がない」だけでは、福祉施策や支援の対象になりにくいかも。

「だからシニア、特に男性が気軽に集まれる場所を作りたいかった。『ビニールハウスを活用できないか』と、区社協と話し合いました」

「発足から3年余りですが、皆さん、居場所ですらやって過ごしますか？」

「居場所は毎週月曜午前中です。毎回20人ほどが集まります。お茶飲み、おしゃべり、農作業、木工作業など思い思いです」

「居場所で何か特別な活動もするのですか？」

## 作る

「もちつき大会には大勢が集まりました。そのほかサツマイモ掘りや、学生のアイデアで実現した薫製作り、夜の集まり『yoruru gootō』も大変、好評でした」

「今後の目標は？」

「ここは砂地で野菜が良く育つ。野菜販売を地元商店街で始めました。今後は『marugootō野菜』としてブランド化できたら」

「甘す



ビニールハウスの居場所

## 訪問記

冬場の午前、新潟市西蒲区松野尾にあるビニールハウスの居場所「marugootō」を訪れました。車道から畑へ通じる砂利道に入り、歩いて数分でたどり着きました。ビニールハウス室内の地面は、雨にぬれた屋外と違って乾いていました。

室内には既に10人ほどが集まっていました。「自由に来て、自由に過ごす」がうたい文句です。テーブルでコーヒを飲んだり、おしゃべりに

興じたり、気ままな様子でした。参加者の1人が持ち寄った「イモようかん」が振る舞われました。「うまい」「甘す

ぎなくて、いい」と声が上がりました。

「ゴシゴシゴシ」――。テーブルの端で木を削る音が響き始めました。ひのき材の「防臭・防虫ブ

ロック」を作るための木工作業が始まったのでした。

その傍らで、合唱が始まりました。「まるごと賛歌」というオリジナル曲を作詞作曲した男性がタクトを振り、合唱を合わせます。次は女性が歌い始め、合唱が広がっていきま

した。居場所の隣の畑では農作業が始まりました。

「男性でも女性でも誰が来てもいい。何をしてもいい。何も

しなくてもいい。それがmarugootō。運営団体代表の岩崎典子さんは目を細めました。

## ひとときを思い思いに

「甘す

# 令和3年度の主な事業 新潟県社会福祉協議会

## 1 みんなで育む福祉のまちづくり

- (1) 福祉に関する県民の理解や関心の向上
  - ① 新潟県民福祉大会開催事業 妙高市で10月7～8日
  - ② 福祉・介護・健康フェア開催事業
- (2) 地域福祉活動・市町村社協活動支援事業
  - ① 市町村社協会長視察研修 上越市で開催
  - ② 市町村社協職員課題別研修
- (3) 地域共生社会実現に向けた基盤構築の推進〈活動指針〉
  - ① 市町村が抱える社会課題の抽出及び検討  
・プラットフォームづくりの推進〈新規〉
  - ② 地域共生社会の実現に向けた関係機関  
・団体との連携の場づくり
- (4) ボランティア活動・社会貢献活動推進事業
  - ① 災害救援活動の推進 ・災害支援コーディネーター養成研修（初級・中級・上級）
  - ② 福祉教育の推進 ・福祉教育推進セミナー
- (5) 福祉団体との連携 ・協働を基盤とした政策提言、要望活動  
・福祉団体懇談会の開催や共同要望活動の実施
- (6) 災害福祉広域支援ネットワーク協議会の運営 ・災害福祉支援チームの研修・訓練等



第70回新潟県民福祉大会

## 2 一人ひとりの自立生活づくり

- (1) 明るい長寿社会づくり推進事業
  - ① にいがたねりんピック
  - ② 全国健康福祉祭選手派遣 岐阜県で10月30日～11月2日
  - ③ シニアカレッジ新潟
  - ④ シニアカレッジ新潟同窓会事業
  - ⑤ 高齢者等の健康増進  
・地域参画促進に向けた研究集会
- (2) 高齢者総合相談センター事業
- (3) 認知症コールセンター事業
- (4) 障害者福祉活動推進事業
  - ① 福祉の店パレット新潟店運営事業
  - ② 障害者施設商品のコンプライアンス強化
  - ③ 農福マルシェの開催
  - ④ 障害者施設による販売業務の実施（施設外就労）
  - ⑤ 障害者就労×持続可能なビジネスモデルの展開
- (5) 生活福祉資金貸付事業
- (6) 新潟県・新潟市ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業
- (7) 児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業
- (8) 自立生活を支えるための包括的な総合相談・生活支援体制づくりの推進〈活動指針〉
  - ① 生活困窮者自立支援に関わる社協職員等研修
  - ② 生活福祉資金事務担当者研修



シニアカレッジ新潟の上越会場卒業式

(5ページへ続く)

### 3 利用者主体の福祉サービスづくり

#### (1) 地域における権利擁護体制の推進〈活動指針〉

- ① 日常生活自立支援事業
  - ・29社協に委託し実施・専門員研修等
  - ・従事者育成プログラム企画会議
  - ・新型コロナウイルス感染状況下における社会福祉協議会の持続可能な事業活動推進体制構築（仮称）〈新規〉
- ② 成年後見制度普及促進事業
  - ・成年後見制度体制整備検討会〈新規〉
  - ・権利擁護センター等推進研修会〈新規〉
  - ・地域における総合的な権利擁護体制づくり検討会〈新規〉

#### (2) 福祉サービス利用者の苦情解決の支援

- ・福祉サービス運営適正化委員会事業

### 4 福祉を支える人づくり

#### (1) 福祉人材の確保等

- ① 福祉人材センター運営事業
  - ・新潟市、長岡市、上越市での就職等相談の実施
  - ・出張相談会の実施
  - ・福祉のしごと就職フェア
  - ・介護施設見学会の開催

#### ② 福祉職の魅力についての啓発の推進〈活動指針〉

- ・インタビュー動画作成〈新規〉
- ・福祉職場体験・職場体験レポート〈新規〉
- ・インスタグラムによる情報発信〈新規〉
- ・関係団体・法人等との連携事業〈新規〉

#### ③ 介護福祉士等修学資金貸付事業

- ・介護福祉士・社会福祉士修学資金
- ・介護福祉士実務者研修受講資金
- ・離職した介護人材の再就職準備金

#### (2) 社会福祉研修センター運営事業

- ・監事研修（隔年）
- ・相談面接技術研修（応用コース）〈新規〉
- ・福祉職員採用担当者研修〈新規〉
- ・リスクマネジメント等研修〈新規〉
- ・法人、事業所への研修事業に関する調査

#### (3) 介護支援専門員実務研修受講試験事業

新潟市、長岡市で10月10日に試験

### 5 法人運営機能の強化

- (1) 会計監査人設置・内部管理体制の整備
- (2) 職員の育成・組織力向上
  - ・OJT研修、スキルアップ研修、組織力向上研修等
- (3) 新潟ユニゾンプラザの管理運営
- (4) 県社協事業継続計画（BCP）の評価改善

令和3年度  
社会福祉施設  
総合損害補償

# しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

**老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設の  
事故・紛争円満解決のために！**

**プラン① 施設業務の補償**（賠償責任保険、動産総合保険等）

■ 基本補償（賠償・見舞）

▶ 保険金額			
	基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)	
賠償事故	身体賠償（1名・1事故）	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償（1事故）	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償（期間中）	200万円	200万円
	うち現金支払限度額（期間中）	20万円	20万円
	人格権侵害（期間中）	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失（期間中）	1,000万円	1,000万円
	徘徊時賠償（期間中）	2,000万円	2,000万円
お見舞い等	事故対応特別費用（期間中）	500万円	500万円
	被害者対応費用（1名につき）	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時100万円 入院時1.5～7万円 通院時1～3.5万円

保険期間 1年

▶ 年額保険料（掛金）	
定員	基本補償(A型)
1～50名	35,000～61,460円
51～100名	68,270～97,000円
100名以降1名～10名増ごと	1,500円

基本補償(A型) 保険料 + 【見舞費用加算】  
 定員1名あたり  
 入所：1,300円  
 通所：1,390円

スケールメリットを活かした  
**充実した補償と  
 割安な保険料  
 です。**

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

● このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。●

**団体契約者** 社会福祉法人 **全国社会福祉協議会**

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
 〈保険会社〉 TEL：03(3349)5137  
 受付時間：平日の9:00～17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

**取扱代理店** 株式会社 **福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
 TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763  
 受付時間：平日の9:30～17:30(12/29～1/3を除きます。)

〔SJ20-12299 2020.12.28 作成〕

5 「福祉にいがた」2021.4月号

# 令和3年度当初予算 資金収支予算内訳表 (単位：千円)

会計単位／事業区分／拠点区分 等	収支等区分	R3当初予算 (a)	R2当初予算 (b)	増減 (c)	
1 一般会計	総収入	2,749,223	2,896,738	△149,625	
	総支出	2,204,746	2,171,863	30,773	
	当期末支払資金残高	544,477	724,875	△180,398	
(1) 社会福祉事業 合計	総収入	423,805	452,207	△28,402	
	総支出	373,892	415,337	△41,445	
	当期末支払資金残高	49,913	36,870	13,043	
	①法人運営事業 (理事会・評議員会など)	総収入	74,857	92,540	△17,683
		総支出	67,885	92,540	△24,655
		当期末支払資金残高	6,972	0	6,972
	②連絡調整事業 (要望活動、福祉団体懇談会など)	総収入	6,185	8,120	△1,935
		総支出	6,185	8,120	△1,935
		当期末支払資金残高	0	0	0
	③企画・広報事業 (広報活動、顕彰事業など)	総収入	19,267	6,665	12,602
		総支出	19,267	6,665	12,602
		当期末支払資金残高	0	0	0
④地域福祉活動推進事業 (成年後見促進・法人後見支援事業、市町村社協支援など)	総収入	36,992	59,175	△22,183	
	総支出	36,992	59,175	△22,183	
	当期末支払資金残高	0	0	0	
⑤高齢者福祉活動推進事業 (明るい長寿社会づくり事業など)	総収入	82,668	88,649	△5,981	
	総支出	82,668	88,649	△5,981	
	当期末支払資金残高	0	0	0	
⑥障害者福祉活動推進事業 (福祉の店パレット新潟店など)	総収入	13,793	11,154	2,639	
	総支出	13,111	11,154	1,957	
	当期末支払資金残高	682	0	682	
⑦福祉サービス利用支援事業 (日常生活自立支援事業など)	総収入	68,965	69,176	△211	
	総支出	68,965	69,176	△211	
	当期末支払資金残高	0	0	0	
⑧福祉従事者確保・就労促進事業 (福祉人材センター事業、福利厚生センター事業など)	総収入	64,581	66,062	△1,481	
	総支出	64,581	66,062	△1,481	
	当期末支払資金残高	0	0	0	
⑨共同募金配分金事業 (福祉にいがた発行事業、県民福祉大会など)	総収入	13,165	12,338	827	
	総支出	13,165	12,338	827	
	当期末支払資金残高	0	0	0	
⑩助成事業 (福祉施設への助成)	総収入	8,290	6,031	2,259	
	総支出	8,290	6,031	2,259	
	当期末支払資金残高	0	0	0	
⑪基金管理運営事業 (県民たすけあい基金など)	総収入	80,078	73,623	6,455	
	総支出	37,819	36,753	1,066	
	当期末支払資金残高	42,259	36,870	5,389	
(2) 公益事業 合計	総収入	2,216,096	2,324,254	△108,158	
	総支出	1,709,396	1,633,038	76,358	
	当期末支払資金残高	506,700	691,216	△184,516	
	①福祉従事者養成・資質向上事業 (社会福祉研修センター事業)	総収入	24,478	33,219	△8,741
		総支出	18,256	20,547	△2,291
		当期末支払資金残高	6,222	12,672	△6,450
	②介護支援専門員養成・資質向上事業 (ケアマネ実務研修受講試験事業)	総収入	26,328	28,420	△2,092
		総支出	14,772	15,180	△408
		当期末支払資金残高	11,556	13,240	△1,684
	③福祉従事者退職共済事業	総収入	1,439,340	1,416,333	23,007
		総支出	1,439,340	1,416,333	23,007
		当期末支払資金残高	0	0	0
④貸付事業 (介護福祉士等修学資金など)	総収入	725,950	846,282	△120,332	
	総支出	237,028	180,978	56,050	
	当期末支払資金残高	488,922	665,304	△176,382	
(3) 収益事業 合計	総収入	111,189	124,254	△13,065	
	総支出	123,325	127,465	△4,140	
	当期末支払資金残高	△12,136	△3,211	△8,925	
①新潟ユニゾンプラザ管理運営事業	総収入	111,189	124,254	△13,065	
	総支出	123,325	127,465	△4,140	
	当期末支払資金残高	△12,136	△3,211	△8,925	

※総収入額に前期末支払資金残高を含めている。

## 緊急小口資金等特例貸付

# 令和3年6月末まで受付期間延長

新潟県社会福祉協議会は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯へ、市区町村社会福祉協議会等を窓口「緊急小口資金等特例貸付」を実施しています。この緊急小口資金等特例貸付の受付期間が、令和3年6月末まで延長されることに決まりました。

新潟県内の申請状況は令和3年3月19日現在で7,021件、金額で14億2,041万円です。内訳では緊急小口資金が5,797件、金額8億6,112万円、総合支援資金(初回・再貸付)が1,224件、金額5億5,929万円となっています。

いまだ新型コロナウイルス感染症の影響は県民の皆様の生活に大きな影響を与えていることから、生活上のお困りごとを含め、貸付を希望される方はお住まいの市区町村の社会福祉協議会へご相談ください。

特例貸付	【緊急小口資金】 (一時的な資金が必要な方)	【総合支援資金(生活支援費)】 (生活の立て直しが必要な方)
貸付対象者	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯
貸付上限	10万円以内 (学校等の休業等、個人事業主等の特例 20万円以内)	(2人以上)月20万円以内 (単身)月15万円以内 貸付期間：原則3カ月以内
据置期間	1年以内	1年以内
償還期限	2年以内	10年以内
貸付利子	無利子	無利子

## 貸付制度のご案内

厚生労働省の要綱に基づき、国と新潟県(ひとり親家庭高等職業訓練促進資金は新潟市も)が貸付原資を出し合い、新潟県社会福祉協議会が運営する貸付制度について、ご案内します。

※各貸付制度の詳細や借入申込申請時期は、新潟県社会福祉協議会のホームページでご確認いただけます。

### 児童養護施設退所者等に対する自立支援資金

**目的** 児童養護施設等を退所した方等の就職や進学又は資格取得を支援します。

**貸付対象** 児童養護施設又は里親等を退所等した方。資格取得支援費は児童養護施設に入所中又は里親等に委託中の方

**貸付額** ①生活支援費：月額5万円以内  
(大学等への進学者の生活費)  
②家賃支援費：家賃額  
(上限あり(大学等への進学者又は就職者の一月あたりの家賃相当額))  
③資格取得支援費：25万円以内  
(児童養護施設等入所者の資格取得費用)

※新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少し、経済的に厳しい状況にある型への支援内容を一部拡充しました。  
詳細はお問い合わせください。

**返還免除** 就職した日から5年間(資格取得支援費は2年間)引き続き従事した場合、返還が免除されます。

### ひとり親家庭高等職業訓練促進資金

**目的** ひとり親家庭の親の方の養成機関への入学や取得資格を活かした就職の為の準備資金を支援します。

**貸付対象** 「高等職業訓練促進給付金」を受給している方で取得する資格が必要な業務の従事を希望する方

**貸付額** ①入学準備金：50万円以内  
(養成施設入学金等)  
②就職準備金：20万円以内  
(就職する際の準備費用)

**返還免除** 取得した資格が必要な業務に5年間引き続き従事した場合、返還が免除されます。

### 【お問い合わせ先】

新潟県社会福祉協議会 生活支援課  
TEL 025-281-5605  
URL:www.fukushiniigata.or.jp

# 市民の担い手 養成へ

## 長岡市・市社協 県内初の研修会

### 概論や実践編 第一線職員が講義

成年後見制度の利用促進に向け、将来的には市民から後見人に育ってもらうことを狙いにした研修会が3月8日と11日の2日間、長岡市の市社会福祉センター・トモシアで開かれました。生活支援員を含む幅広い権利擁護の担い手確保を見すえた研修会は県内で初めてとされます。

成年後見制度は判断能力が不十分な成人の財産と権利の擁護が狙いです。後見人は主に預貯金の管理・解約などのほか、入院手続き



市民向けに開かれた権利擁護支援者養成研修

などの身上保護を請け負います。特段の資格は不要ですが、実際には弁護士や司法書士、社会福祉士が主な担い手となっています。

長寿社会と認知症患者の増加などにより、成年後見の需要は今後増えると考えられ、担い手が限られていては制度運用に支障が生じかねません。

そこで社会福祉協議会やNPOなどの法人が後見人を受任した際、その支援員に一般市民が就くことが期待されています。



コミュニケーション技術の演習に打ち込む参加者

今回、長岡市が市社会福祉協議会との共催で開いたのは一般市民対象の「権利擁護支援者養成研修」です。「地域福祉に関心がある」「成年後見制度の知識を得たい」「生活支援員または法人後見支援員として活動したい」などの糸口で参加を呼び掛け。35人が2日間、参加しました。

初日は「地域福祉・権利擁護」「日常生活自立支援事業と成年後見制度の概要」「生活保護」「障害者福祉制度」など、福祉制度に関する概論について、市や市社協の第一線職員らが講師と

#### 成年後見制度

判断能力が不十分な成人の権利を擁護するための制度で、介護保険制度と共に平成12年にスタート。既に判断能力が不十分な人のための「法定後見」と、将

なりました。

2日目は「介護保険制度や高齢福祉サービス」「認知症など高齢者理解」などを学びました。

さらに実践的な講義は専門職員が担当。「生活支援員の職務」の中で講師は「地域の生活者の目線で利用者に寄り添ってほしい」と呼び掛けました。

また「コミュニケーション技術」で講師は「本人サイドに立つ支援者がいることで、地域も本人も安心して過ごせる地域社会ができる」と強調しました。

修了者は、長岡市社協の日常生活自立支援事業の生活支援員として活動できる場合があるそうです。

来、判断能力が不十分となった場合に備える「任意後見」がある。

「誰を後見人にするか」について任意後見の場合、任意契約となる。法定後見の場合、家庭裁判所の審判で決まる。



# 令和3年度 共同募金 広域助成事業を募集

新潟県共同募金会は、令和3年度共同募金広域助成事業を募集します。

要項・申請書は当会のホームページからダウンロードしてください。申請の締め切りは

5月20日。消印有効です。  
また市町村共同募金委員会でも公募事業を実施しています。各地域の共同募金委員会にお問い合わせください

まで。

問い合わせ先

新潟県共同募金会

電話 025(281)5532

県共募ホームページ

<http://www.akahane-nigata.or.jp>

nigata.or.jp



## 令和3年度共同募金広域助成事業募集のお知らせ

1. 事業名	県広域福祉団体助成
対象事業	県域を単位とする民間の福祉団体が実施する社会福祉事業等
助成基準	事業費の80%を上限
2. 事業名	社会福祉施設整備助成
対象事業	高齢者・障がい者・児童などを支援する法定施設で、施設利用者の処遇向上のための備品・車両の整備、施設の増改築や改修など
助成基準	事業費の75%(200万円)を上限。多額の繰越金を有する団体は対象外
3. 事業名	地域活動支援センター等助成
対象事業	地域活動支援センター等が実施する研修・交流会の開催、建物の修繕、作業用備品の購入、自主製品の材料購入、送迎用車両の購入など
助成基準	原則として事業費の90%を上限。多額の繰越金を有する団体は対象外
4. 事業名	地域活動支援助成
対象事業	社会福祉法人、NPO法人、自治会等の地域団体、社会福祉活動を行う非営利団体・グループが公的助成の対象とならない「生活支援事業」「交流支援事業」「移動支援事業」を実施するために必要な経費
助成基準	原則として事業費の90%を上限(事業内容に応じ10万円から100万円)

### 子どもと家族緊急支援 2団体から感謝の言葉

県共同募金会の赤い羽根「子どもと家族の緊急支援」は、コロナ禍によって日常生活が困難な子どもや家族を支援する福祉関係団



「黒糸みんなの食堂」の食事作り

のつながりが生まれまし

た。今できることをできる範囲で楽しく活動が続けていきます。

若者を応援する地域ネットワークの会「ぶーばーにーば」(南魚沼市)

安心して自宅で夜を過ごせない子どもや若者の相談が増加する中、避難場所や寝具などを整備することができました。

緊急時に利用できる居場所が、困難を抱える子どもや若者の大きな助けになりました。

災害等準備金拠出—公告  
上越市社協へ支援金

新潟県共募

令和3年1月大雪災害で

県共同募金会は、災害等準備金から上越市社協へ除雪ボランティア活動に必要な安全ベルトなどの購入費用として19万8、325円を支援しました。

大人のカレー

「みんなの食堂」を通じて、地域の人たち

図る活動をしてい

ます。

「みんなの食堂」

を通して、

地域の人たち

図る活動をしてい

ます。

「みんなの食堂」

を通して、

地域の人たち

図る活動をしてい

ます。

「みんなの食堂」

を通して、

地域の人たち

大人のカレー



大人のカレー



赤い羽根



赤い羽根



# 新たに100冊仲間入り

ユニゾンの図書館（新潟市中央区の新潟ユニゾンプラザ2階）に、新たに購入した福祉・女性関係図書70冊と、新潟医療福祉大学図書館からお借りした図書約30冊の、合わせて約100冊、さらにDVD5枚が入りましたⅡ表参照Ⅱ。

購入図書でお薦めするのは要介護5のコラムニストとして知られる神足祐司氏が、西原理恵子氏のイラストとともに著した「コータ

リン&サイバラの介護の絵本」です。誰にも楽しく読めて介護への理解も深まると評されています。発達障害の一つ、読字障害（ディスレクシア）の青年を主人公にした全5巻のコミックス「ぼくの素晴らしい人生」（愛本みずほ著）も話題です。

保育関係では「日本が誇る！ていねいな保育」（大豆生田啓友・おおだけいこ）（大豆生田啓友・おおだけいこ著）、女性関係では「働く女性の今」をテーマにした「働き方改革で伸びる女性 つぶれる女性」（東谷由香著）が外せません。元日経ウーマン編集長の麓幸子さんの「仕事も人

生も自分らしく イマドキ女性管理職の働き方」ではケース別ノウハウが多数紹介されています。経営者の視点からの「日本一女性を育てる会社」（鈴木一輝著）も必読の一冊です。医療福祉大学図書館からは「最高のパフォーマンスを引き出す自律神経の整え



仕事も自分らしく イマドキ女性管理職の働き方」ではケース別ノウハウが多数紹介されています。経営者の視点からの「日本一女性を育てる会社」（鈴木一輝著）も必読の一冊です。医療福祉大学図書館からは「最高のパフォーマンスを引き出す自律神経の整え



方」（久手堅司著）や「ハーバード式病気になるらない生活術」（浦島充佳著）、「脳が若返る最高の睡眠…寝不足は認知症の最大リスク」（加藤俊徳著）などをお借りして貸し出しています。

ユニゾンの図書館は、社会福祉や女性問題などが中心ですが、入門書から最近の話題作なども取りそろえており、誰もが親しめる図書館を目指しています。



ユニゾンの図書館



生も自分らしく イマドキ女性管理職の働き方」ではケース別ノウハウが多数紹介されています。経営者の視点からの「日本一女性を育てる会社」（鈴木一輝著）も必読の一冊です。医療福祉大学図書館からは「最高のパフォーマンスを引き出す自律神経の整え

## 新着図書リスト

No	◇新着購入図書からのオススメ◇	著訳編者名等
1	日本が誇る!ていねいな保育	大豆生田啓友・おおだけいこ
2	「語り合い」で保育が変わる	大豆生田啓友ほか
3	保育者の関わり方の理論と実践	高山静子
4	なぜ僕らは働くのか	池上彰(監修)
5	慟哭は聴こえない(デフ・ヴォイス)	丸山正樹
6	終わった人	内館牧子
7	左手一本のシュート	島沢優子
8	ぼくの素晴らしい人生1~5	愛本みずほ
9	ましろ日1~7	香川まさひと原作/若狭星作画
10	傘寿まり子14	おざわゆき
11	事例に学ぶ 介護リスクマネジメント	山田滋
12	大切な人が病気になったとき、何が出来るか考えてみました	井上由季子
13	なぜ、認知症のある人とうまくかかわれないのか?	石原哲朗
14	そのママでいい 発達障害の子を育てるあなたに贈る43のエール	橋口亜希子
15	JR上野駅公園口	柳美里
16	働き方改革で 伸びる女性 つぶれる女性	東谷由香
17	読書する女たち	ステファニー・スタール
18	日本一女性を育てる会社	鈴木一輝
19	仕事も人生も自分らしく イマドキ女性管理職の働き方	麓幸子
20	夫が知らない家事リスト	野々村友紀子
21	タンタンタンゴはパパふたり	リチャードソン、ジャスティン他
22	コータリン&サイバラの介護の絵本	神足祐司/西原理恵子
23	[DVD]ふくしの仕事Ⅱ①小規模多機能居宅介護	東京シネ・ビデオ
24	[DVD]ふくしの仕事Ⅱ③デイサービス 介護職員	東京シネ・ビデオ
25	[DVD]ふくしの仕事Ⅱ④グループホーム 介護福祉士	東京シネ・ビデオ
26	[DVD]ふくしの仕事Ⅱ⑤地域包括支援センター 社会福祉士	東京シネ・ビデオ
27	[DVD]地域のための認知症セミナー	渡辺哲弘
◇医療福祉大学新着図書からのオススメ◇		
28	最高のパフォーマンスを引き出す自律神経の整え方	久手堅司
29	疲れしない大百科 女性専門の疲労外来ドクターが教える	工藤孝文
30	ハーバード式病気になるらない生活術	浦島充佳
31	脳が若返る最高の睡眠:寝不足は認知症の最大リスク	加藤俊徳
32	睡眠負債 "ちょっと寝不足"が命を縮める	NHKスペシャル取材班

## 会談懇と 県と懇談会 福祉団体訴え

# クラスター発生、ワクチン接種…

# 素早い 正確な情報不可欠

令和2年度第2回「福祉

団体懇談会」が2月18日、

新潟市中央区の新潟ユニゾ

ンプラザで開かれました。

新型コロナウイルスの感染

急拡大の中で開かれた、令

和2年9月の第1回に続

き、第2回懇談会も新型ウ

イルスに関する不安や要望

の声が続ぎました。

懇談会は、県福祉保健部

との情報交換や要望を狙い

に、県社会福祉協議会が主

催して毎年度2回開かれて

います。福祉団体側は老人

や子ども、障害などの16団

体が参加。県からは福祉保

健課の中野正喜課長をはじめ

め、障害福祉課、子ども家

庭課、高齢福祉保健課の職

員が参加しました。

県社会福祉協議会の竹内

希六会長が「住民の安心し

た生活を守るため、これま

で以上に福祉団体が結束し

て力を尽くすことが肝要

だ」とあいさつし、懇談会

が進められました。

福祉団体から新型コロナウイルス

関連の声が相次いだのは

情報交換の部でした。

県社会就労センター連絡

協議会の寺口能弘会長が

「新型コロナウイルス感染者が出

た場合の対応を、福祉の業

態に合わせ『見える化』し

てほしい。また高齢者入所

施設職員のワクチン接種は

いつなのか、おおよそのス

ケジュールを示してほしい」と訴えました。

また、県社会福祉士会の

星井勝博会長は「保育園の

場合、感染発生が分かると

誹謗中傷につながりかねな

い。逆に伏せるとデマが広

がってしまう」と対応の難

しさを投げ掛けました。

さらに県老人福祉施設協

議会の高橋是司会長は「ク

ラスター発生などについて

情報が遅い、入りにくいと

感じる。利用者を守るた

め、確かな情報を早く提供

してほしい」と述べました。

県は「入所施設の職員の

場合、できるだけPCR検

査で対応したい」「通所施設

の職員で症状がある場合、

ためらわずに受診して」「情

報提供は人権も関係するた

め、慎重に考えざるを得な

い」などと答えました。



福祉関係の16団体が参加した令和2年度第2回福祉団体懇談会(写真①)と、県の考えを説明する中野正喜福祉保健課長ら(写真②)。



県社会就労センター連絡協議会 寺口能弘会長



県社会福祉士会 星井勝博会長



県老人福祉施設協議会 高橋是司会長

# 災害ボランティアC ライオンズクラブが支援

## 県社協や新潟市社協と協定

自然災害発生の際に立ち上げられる災害ボランティアセンターを支援しようと、県内を活動エリアとする国際奉仕団体・ライオンズクラブ国際協会333-A地区が2月18日、県社会福祉協議会、新潟市社会福祉協議会とそれぞれ支援協定を締結しました。

同様の協定を県社協が結ぶのは、平成27年の日本青年会議所北陸信越地区新潟ブロック協議会に続き、2例目です。

協定書では災害ボランティアセンター立ち上げの際



災害ボランティアセンター支援協定の締結式

し、社協側がライオンズクラブ側に①バスや軽トラックなどの車両②必要な資材③参集するボランティアの駐車場④クラブ員の専門性を生かした物的・人的な支援⑤ボランティアへの飲食物などの提供要請ができる、としています。

調印式は新潟市中央区の新潟ユニゾンプラザで行われ、調印の後、県社協の竹内希六会長があいさつ。

「災害時にボランティアセンター設置・運営の支援をいただくことは迅速、効果的な被災者支援につながる」と期待を述べました。

333-A地区の佐藤義尚ガバナーは「県内には71のライオンズクラブがある。今後、それぞれが地元社協と協定を結べば、きめ細やかな支援ネットワークができる。そのスタートラインに立てた」と述べました。

パレット営業時間  
11時半～16時半に

新潟ユニゾンプラザ（新潟市中央区上所）の1階にある「福祉の店 パレット新潟店」の営業時間が午前11時30分から午後4時30分までとなりました。

ご利用される皆さまには大変にご不便、ご迷惑をお

### パレット新潟店営業日

2021年 4月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

2021年 5月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

…は休業日

掛けし、誠に申し訳ありませんが、ご理解とご協力をお願いいたします。

営業日カレンダーを掲載します。ご覧ください。

問い合わせは県社会福祉協議会地域福祉課、電話025(281)5521。

### ◆人事異動◆

#### 新潟県社会福祉協議会

(4月1日付)

福祉人材課長(福祉人材課参事) 高橋真知子▽生活支援課長代理(生活支援課主査) 竹ノ内悦子▽総務管理課主査(総務管理課主任) 岩本桂子▽企画広報課主査(企画広報課主任) 土田洋子▽同課主任(同課主事) 本間一生▽地域福祉課主任(地域福祉課主事) 五十嵐基世以上、昇任  
福祉人材課臨時(福祉人材課嘱託) 桜井幸栄

#### 【採用】

福祉人材課主事 小原雄輔

#### 【再雇用】

福祉人材課専門員(福祉人材課主査3月31日付退職) 斎藤ゆき子

#### 【退職】

福祉人材課長 新保由己子(3月31日付)

### 編集後記

新年度がスタートした。採用や異動で新顔が加わった職場では清らかな雰囲気にも包まれていよう。しかし、澄み切った心境にはどこか、なごりきれない。新型コロナウイルスが、心の重しとなっている気がする。

1年前、著名人が相次いで犠牲となった。一気に恐ろしくなった。前後して全国緊急事態宣言が発せられた。当時、新型ウイルスとの闘いについて、ある専門家は「野球に例えればまだ2回表」と表現した。その後、インテグは進んだはず。ワクチン接種も始まりつつある矢先、今度は変異型ウイルスの感染が広まり始めているという。

ウイルス禍ただ中の年度初め。ささやかでも抱負を抱こう。私は…。面倒でも手洗い・うがいや怠るまい。不要不急な外出を避け、一方で取材のフットワークは軽くしたい。(佐)

この機関誌は、赤い羽根共同募金の助成を受け発行しています。



発行所/社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会  
新潟市中央区上所2-2-2ユニゾンプラザ  
☎ 025-281-5584  
発行人/関原 貢  
定 価/5円(会員の購読料は会費に含む)

福祉にいがた  
令和3年4月1日発行(毎月1日発行)  
印刷/株式会社 ジョーメイ